

# 4

月にいそいそと  
スイスへ出かける  
男たちがいる。  
目的はバーゼル

ワールド、世界最大規模を誇る時計・宝飾品の新作展示会である。入場料を払えば誰でも入れる。時期をほぼ同じくしてS-HH（通称ジュネーブサロン）もあり、サロンのなごちらの内覧会には入場資格審査がある。

国内にいたとしても、バーゼル&ジュネーブの話題の盛り上がりに応じ、男たちは熱く、時にはクールを装い、語るのである。ミッツリピーターが、トゥールビヨンが、ムーヴメントが……。

「ミもフタもない言い方を許してもらえれば、時を知るための道具である。しかるに、なぜそこまで時計に夢中になれるのか。なぜ何百万円も、時には何千万円もする時計を、何本も買い集めたりするのか。両手首に時計をつけてしまふほどの時計愛は、いったいどこからくるのか。」

「スベック至上主義を濃密に楽しめる、それが時計です。歴史も文化もある機械式時計は、旺盛な知識欲に、値段の分だけ、こたえてくれますから」と、時計誌クロノス日本版編集長は語る。

特殊な（知識）を極めすぎる人は時に（オタク）と呼ばれる。が、ここ1、2年、市場を引張っている時計オタクは、いわゆる（オタク）の負のイメージが小さく、むしろ、時代の最先端を走るという自信や勢いを誇っているように見える。自信の誇示。これぞほかならぬマッチョの性質の一つであ

る。時計を通してマッチョを生きるこの新種のオタクマッチョについて、ある時計ジャーナリストは、こんな風に語る。

「オタクというよりコノシユア（connoisseur）ですな」

目利き、とか  
通、という感じ？

「ええ。今の時計コノシユアに共通するのは、彼らが頭で稼いでいる人たちだということです。M&A 専門の弁護士やアナリスト、外資系コンサルタント……」



「コミュニケーション能力の高さを求められる職業である。社会的に閉じたオタクじゃない。」

「そうです。情報収集や分析なん

てお手のものですから、漠然としたブランドイメージに惑わされな

い。自分で調べて納得しないと買

わないんです」

舌をかみそうな専門用語を理解

できる高度な知性を要求してくる

時計は、そんな頭の

いい男たちのプラ

イドをくすぐりま

くるものと思われ

る。じゃあ、時計

が難しいほど、奮

立つたりするんでしょうか？

「たしかに簡単すぎると、しらけ

ます（笑）。あ、それに、時計コノ

シユアは車や靴もこだわりぬいて選

びます。ワインにも詳しいです」

それって一種のエビキュリアン（快

楽主義者）じゃないですか？

「まさしく。でも、横のつながりも

大事にしていて、時々レストランの

個室を借り切って会食します。そ

んな時、時計をテーブルの上に出

して見せたりもするんですよ」

時計品評会つき会食は、かつて

のゴルフの役割もするらしい。が、

その図を想像すると、机の上に好

きなおもちゃを出し自慢しあう男

の子たちの思い出がフラッシュバツ

クとして、頬がゆるむ。

# Sanctuary of the Lost Samurai

中野香織の  
「落日のマッチョ」

## マッチョの機械式時計を見たら とりあえず褒めましょう！

マッチョの対極と思っていたオタクの皆さま。しかし、その中でも時計オタクはどうも違うらしい。今月はうっとりよりも、カワイイで。

Text by Kaori Nakano Special thanks to Naomasa Furukawa and Masayuki Hirota (Chronos Japan)



© Piaget

中野香織（なかの・かおり）

服飾史家・コラムニスト。1962年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て文筆業に。『モードの方程式』（新潮社）が中国語に翻訳されました。表紙の『時尚方程式＝（復古＋未来）×無限創意』に苦笑。



奥ゆかしい(?)優越を示す。これも頭脳派らしい、ニクかわいいところ。さて、オタクマッチョ、もとい、頭脳派快樂主義系目利きが何やらすごそうな時計をしていたら、女はどんなことをかけるべき？

「きれいな時計ですね、なんてさうりと言われるとうれしい」とクロノス編集長。そんな値段に見えないわねえ」と内心思ったとしても、それだけは、間違っても口にしてはいけないそうです。大物を育てる母の心得、に通じるものあり。

1 時計専門誌『クロノス』日本版。誌名の由来はギリシャ語の“時間の神”とか。2 レディたちにわかりやすく機械式時計の解説ができるのも時計コノシユア=マッチョの条件。ピアジェ・インターナショナル社CEOのフィリップ・レオポルド・メッツガー氏。3 知る人ぞ知る伝説の時計師F.P. ジュルヌ氏。



3